

## 審議会等会議録

審議会等の名称	令和元年度第1回山口市立図書館協議会
開催日時	令和元年5月20日（月曜日）10:00～12:00
開催場所	山口市役所 別館 1階 第2会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、吉村副会長、國弘委員、坂田委員、中原委員、中村委員、原田委員、山口委員、山本委員
欠席者	大野委員、黒田委員、縄田委員
事務局	中央図書館長、小郡図書館長、秋穂図書館長、阿知須図書館長、徳地図書館長、阿東図書館長、中央図書館副参事、中央図書館管理担当主幹、中央図書館サービス担当主幹
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委嘱状の交付</li> <li>2 会長、副会長の選出</li> <li>3 平成30年度山口市立図書館運営状況報告</li> <li>4 各館の平成30年度山口市立図書館運営状況報告</li> <li>5 こどもワイワイ図書館 実施報告</li> <li>6 その他</li> </ol>
内容	<p><b>○事務局</b></p> <p>本日はお忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。  ただいまより、令和元年度第1回山口市立図書館協議会を開催いたします。  まず最初に、次第の1. 委嘱状の交付をおこないます。中央図書館長が挨拶の後、皆様の前に委嘱状をお持ちしますのでお受け取りください。  では、館長、お願いいたします。</p> <p><b>【 館長挨拶、委嘱状交付 】</b></p> <p><b>○事務局</b></p> <p>本協議会は、12名の委員での構成となっております。  本日は、大野委員さん、黒田委員さん、縄田委員さんが欠席でございますが、委員の過半数の出席がございますので、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会議は成立しております。  続きまして、本日の資料について確認させていただきます。  先日、郵送いたしておりますけれども、本日のレジメ、席次表、委員名簿、「平成30年度山口市立図書館運営状況」、A3横の「平成30年度事業実績」、「平成30年度 館別各種指標」、「平成30年度 山口市立図書館各種指標」、「平成30年度の主な取り組みと令和元年度の主な取り組み予定」、「こどもワイワイ図書館について</p>

て（報告）」でございます。

もし、お手元になれば、事務局で用意しておりますので、お申し出ください。

また、本日の協議会につきましても、議事録を作成いたしますことから、録音させていただきますので、委員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ここで、委員の皆様から自己紹介を一言ずつお願いしたいと思います。  
國弘委員さんから順にお願いいたします。

#### 【 委員自己紹介、挨拶 】

#### ○事務局

ありがとうございました。

続きまして、事務局を紹介いたします。

#### 【 出席職員紹介 】

よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、続きまして、次第の2. 会長および副会長の選出でございます。

この4月から新しい任期となりましたので、あらためて会長および副会長の選出をお願いしたいと思います。

なお、会長、副会長につきましては、山口市立図書館条例施行規則第23条により、委員の互選により定めることになっております。

皆様の中から、自薦、他薦を含めて、どなたかご意見をいただければと存じます。

（ しばらくの後、推薦の発言あり ）

従前のおり、会長に安光委員、副会長に吉村委員のお名前がでましたが、他になければ、お諮りさせていただいてよろしいでしょうか。

まず、会長、安光委員に賛同される方は挙手をお願いいたします。

続いて、副会長、吉村委員に賛同される方は挙手をお願いいたします。

賛成多数ということで 会長は安光委員、副会長は吉村委員という体制で、よろしくお願ひいたします。

それでは、山口市立図書館条例施行規則第24条により会長が議長となりますことから、これから安光会長に議事進行をお願いいたします。

安光会長、吉村副会長におかれましては、席をお移りください。

それでは安光会長お願ひいたします。

#### ○会長

会長に就任しました山口県立大学の安光です。よろしくお願ひします。

#### ○副会長

副会長を勤めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## ○会長

それでは、議事に入らせていただきます。

まず、次第の3、平成30年度山口市立図書館運営状況報告ということで、事務局から御説明をお願いいたします。

## ○事務局

平成30年度山口市立図書館の運営状況につきまして御報告いたします。

大項目のⅠの平成30年度の概況でございますけれども、1、第三次山口市立図書館サービス計画。5カ年計画の1年目がスタートしております。この中で、まちじゅう読書推進プロジェクト事業といたしまして、試験的にカフェ6店舗へ図書を毎月50冊、デリバリーをしております。

2、第三次子ども読書推進計画。こちらも同様に5カ年計画の1年目がスタートしております。

3、中央図書館・阿知須図書館が15周年、小郡図書館が10周年、阿東図書館5周年を迎えております。各館独自の周年事業の取り組みを実施しております。

4、市立図書館全館で同日イベントといたしまして、こどもワイワイ図書館を4月29日に実施いたしました。昨年のこどもワイワイ図書館の参加者数は、全館で6,350人の参加でございます。

5、「山口市立図書館資料の貸出しに関する要綱」を改正しまして、山陽小野田市を貸出対象地域として追加しております。改正の理由といたしましては、「県央連携都市圏域 暮らしの価値創造プロジェクト」において公共サービスの相互利用を進めることといたしております。県央圏域で山口市立図書館の利用から外れておりますのは山陽小野田市のみでございます。そういうことから、近隣の取り扱いと同様の対応とすることです。なお、施行日は平成31年3月23日でございます。

6、移動図書館を更新。オレンジ号が購入15周年を経過し、老朽化していることから、利用者数や分館配本、施設への運行を鑑み、コンパクトな車両に更新するとともに、本年度より阿東図書館に配備し、司書1名でサービスを提供することができるように進めております。

大項目のⅡの館別概況につきましては、後ほど各館長より御報告いたします。

続きまして、大項目のⅢ、事務事業別概況につきまして。

図書館事業につきましては7事業ございます。

まず1つ目の事業でございます。1. 図書館管理運営業務につきましては、①の図書館協議会の開催を平成30年度は3回開催いたしております。また、②のまちじゅう読書推進プロジェクト（中央図書館開館15周年記念事業）といたしまして、「いつでもどこでも本のあるまち」として、本が新たに人の流れを創出する、まちを活性化する新しい図書館づくりを進めるため、中央図書館のエントランスエリアや共同利用スペースを「活動の見える」場としてリニューアルいたしました。

2つ目の事業でございます。2. 移動図書館管理運営業務につきましては、利用

状況ですけれども、貸出冊数が3万1,697冊、利用者数1万1,054人、前年度比利用者数771人の減となっております。また、貸出冊数につきましても、802冊の減でございます。1人当たりの貸出冊数につきましては、7.24冊から2.86冊となっております。

この移動図書館につきましては、阿東・徳地のサービスステーションの数を増加する見直しをいたします。また、阿東図書館から阿東・徳地の分館へ配本を行う予定としたいと思っております。

3. 図書館資料整備事業につきましては、各館で選書を行い、選書委員会で受け入れ資料の決定をいたしております。また、除籍検討委員会を毎月開催し、除籍に積極的に取り組みました。

購入点数は、3万6,625点、寄贈受け入れ点数は、3,135点、除籍点数は、2万7,575点です。各内訳は右のとおりとなっております。

4. 学校図書館支援サービス推進事業につきましては、①として、定期的な学校訪問を行い、学校教育課と連携しながら図書担当教諭、学校司書等と面談を行っております。また、訪問の状況を学校司書研修会へ報告いたします。

団体貸し出し、これは学校配送でございまして、3万8,447冊、前年度比では、183冊の増となっております。学校配送用資料購入数は874冊、前年度比では、253冊の減となっております。

また、②として、学校からの要請に応じて、出張ブックトークを実施いたしました。小中学校8校、延べ14回、2,063人となっております。前年度比、小中学校が3校、延べ回数10回の減となっております。なお、人数につきましては32人の増となっております。

また、③として、職場体験やインターンシップを受け入れました。職場体験につきましては、延べ11回、21人が体験をされておりました。前年度比、受け入れ回数は15回、人数が74人の減となっておりますけれども、この人数につきましては、平成29年度には、阿知須小学校から児童が91人来られましたので、その人数の減が要因となっております。

インターンシップにつきましては2回、対象の方が2名おられました。前年度比、受け入れ回数2回、人数が12人の減となっております。

④として、学校司書研修会への参加につきましては、学校教育課の担当指導主事と毎月定例的な打ち合わせを行っております。学校図書館の児童生徒1人当たりの貸出冊数でございます。これが先日、学校教育課より報告がありまして、平成30年度が38冊となっております。1人当たり3冊の増となっております。

次に、5. ブックスタート推進事業につきましては、①として、ブックスタート体験会開催数は110回、参加率は71.6%、前年度比につきましては、参加率は3.2ポイントの減となっております。

②として、ブックスタートの推進委員会の開催、これを5月30日に実施いたしました。また、③として、ブックスタート体験会に参加できなかった方のうち、希

望者への郵送を実施しておりまして、郵送数は101冊、ブックスタートパック贈呈率85.8%です。なお、贈呈率につきましては、前年度比3.2ポイントの減となっております。

④として、黒井健さんによるブックスタート講演会を実施いたしまして、実施日は11月11日でございます。参加者数は50人です。

次に、6. 子ども読書活動推進事業におきましては、以下の①、②の2つを実施しております。

次に、7. 図書館活動推進事業につきましては、新たな利用者層拡大に向けた行事等、以下の①から⑩の事業を行っております。

最後の○他機関等との連携におきましては、①として、山口大学・山口県立大学附属図書館、山口学芸大学、山口芸術短期大学図書館との図書相互返却を実施いたしておりまして、市立図書館の本を大学図書館で返却した数は2,612冊でございます。反対に大学図書館の本を市立図書館に返却した数は42冊となっております。双方とも増加しております。

また、②として、先ほど申し上げました阿東地域の分館配送におきましては、分館が4つございまして、新規登録者が2名、貸出数が109冊、返却が231冊となっております。前年度比で、新規登録が2名、貸し出しが42冊の増となっております。

以上、足早ではございますが、山口市立図書館の30年度の運営状況の御報告になります。

#### ○会長

ありがとうございました。4ページ目なんですけれども、山口県立大学「附属」は今ついていないんですね。山大は「附属」ついていますか。

#### ○委員

山口大学附属図書館ですね。

#### ○会長

私どもは学術情報センターという中にあるので、「附属」という、「附属機関」という考え方で、よろしく願いいたします。

それでは、30年度の山口市立図書館運営状況を御説明いただきましたけれども、何か質問等はございませんでしょうか。お願いします。

#### ○委員

まちじゅう読書推進プロジェクトで、中央図書館がリニューアルしたんですけれども、利用者の方の声とかが届いていれば、教えていただきたいかなというふうに思います。

#### ○会長

3月23日にリニューアルオープンということですが、何か声が届いてますでしょうか。まだ途中経過でしょうか。館長さんに聞きますが、どうでしょうか。館長さん、お願いします。

**○中央図書館長**

際立っていいとか悪いとかいうのはなく、とりあえず不満などは聞きません。

ただ、前からなんですけれど、多少暗いという意見が届いておりますけれども、これは大変申しわけないんですけど、館の構造上といいますか、有名な方が設計されたということもあり、勝手に改修できないと聞いています。

しかしながら、そういった、ちょっと館が暗いなというのは、リニューアルしたんだから、せっかくリニューアルしたんだからという部分の御意見は何っております。

**○会長**

ありがとうございます。できれば、いずれ、もう少しして定着したころに、どういう反応があるのかとか。確かに私も、ワイワイ図書館の後に、ちょっと暗いなと思ったような気もしたんですが、いかんせん、ちょっと天井が、高くて、ちょっとこれは仕方がないのかなと、不思議な構造になっているなと思いました。

ただ、私、この前お聞きしてびっくりしたんですけども、私、まだ一番奥の利用状況を見たことないんですが、連休に、何かぎっしり教室状態の何か机が並んでいて、そこに全部座られて、その教室方式の椅子に座られて、黙々と静かに読んだり調べたりされていた。委員の皆さんは、行かれましたか、ごらんになりましたか、その光景を。

**○委員**

その光景は見てないんですけど、別の意見ですが、あそこで、大勢で静かというのはいいと思うんですけど、トネリコのような小さな会議で声を抑えても、やっぱりこっち側で静かに読んでいらっしゃる方に、声がパーテーション通して伝わるのかなと、また、仕切りがびしっとしていませんよね、前に御説明があったみたい。その辺がどうなのかなと。

**○会長**

事務局、どうぞ。

**○中央図書館長**

奥の3部屋を1部屋にしたことに関しましては、特に、先週ですかね、高校が試験週間ですね。そのときは本当、もう一杯で、あとから椅子を、奥にちょっと置いてたのを皆出してという形で、大変盛況ではございました。

声については、おっしゃるとおり、これもまた構造上の話なんですけど、天井がない構造なんです、あの3部屋というのはですね。どうしてもパーテーションやっても、ちょっと上がすくので、少人数の会議とかがある場合は、従前どおり、多目的室とかいうことも考えながら、例えば、閉めて周りから見ていただいて、活動を知っていただくというなら、会議でもあれば、それは、その中でやっていただいてということもよろしいかと思うんですけど、少人数の声が出るような会議に関しては、多目的室を考えながら臨機応変にやっていただきたい、またやっというところ、そのように考えております。

### ○委員

私ども愛メイトなのですが、使わせていただきました。そのときには、私たちだけが使うということで、本当に気兼ねで、すごい肩身が狭い思いがするぐらい図書館側から全部見えます。それでも、研修会のときにやったんですが、最初に発声練習するんです。そうしたらバンバン響くわけですね。古文を読みながら訳しながら、お互いに練習するということだったんですが、声のそろえてやる場面があるわけです。そうすると外に結構響くという形で、大変、防音装置ということについて、何かもう少し常備されていると遠慮なくやれるのかなと。

それから、共同利用スペースの外の図書館内に1人お年寄りの方が、初めから終わりまでずっと座って本を読んでいらっしゃったと思うんですけど、結局、いつもは入って、その部屋で本を読んでいらっしゃる方じゃないかと思うんです。あの大きな部屋に10人足らずで、真ん中にデンと円座を組んでやる、あれだけなものですから、何かすごく申しわけないなという気がいたしました。

もう一つ、私ども月例会というので、対象者のこととか、いろんな準備等について話し合いますが、それは個人情報でもありますので、それだけは多目的室で、研修会は共同利用スペースで行うことになったんですが、今申しましたように、防音装置について何らかの措置があってほしいなと切に願っております。

### ○会長

多分、その天井をごらんになると、全然これ、ちょっと難しい環境となりますね。だからといって利用が制限されてくるのも問題だなと思うので、ここはうまくそれぞれがやっていくしかないかなと思っています。

きょうの午後の山口市立中央図書館の図書館まつりの実行委員会の共同利用スペースってそこですか。

### ○事務局

そこです。

### ○会長

まだいろいろと御希望等があるでしょうが、まだ4月、5月の2カ月ということですので、今から声があるかなと思っています。

ただ、演奏会とか、最初にファッションショーがあつたり演奏会とかあつたりしますし、いろんな幅広くやるのも、なかなか盛況だったということですし、コーヒーの入れ方みたいなものもあつたんですか。またこれが一つの何かきっかけに、今まで来なかったような方たちが足を運んでいただけるようなことになればいいなと思っています。今後の課題は、特に奥の部分なんかがあるかなと思っています。

それでは、まだあると思うんですよ、昨年度のこと、今の利用については今年度ということがありました。先に、次に参りたいと思っています。

すみません。ちょっとまだありました。4の各館というところがありました。失礼いたしました。各館の平成30年度の事業実績及び令和元年度事業予定ということで、各館にお願いいたします。

まずは中央図書館の館長さん、お願いします。どなたかお願いします。

○事務局

では、事務局より。

○会長

はい、お願いいたします。

○事務局

まずは平成30年度のA4の縦の紙なんですけれども、本日は修正版を2枚お配りしております。先にお配りしておりましたものが、ちょっと修正がございまして、平成30年度館別各種指標という形で、各館の貸出点数だったり入館者数であったりという形の指標のまとめたものと、もう一つは、市立図書館全館での数字を出しております。平成30年度山口市立図書館各館の指標と、同じような言葉なんですけど、2つ、本日、修正版のほうをお配りしております。

まずは、この各館のほうの平成30年度の指標についての御報告をさせていただきます。

まず、平成30年度館別の指標につきましては、資料の修正場所なんですけれども、中央図書館の開館日数が、ちょっと修正がかかりまして、最初にお配りしたのは、235日ほど開館しましたということであったんですけれども、ちょっと差し引く数字が重複いたしておまして、実際、本当に開館したのは255日ということで、ここに修正をかけております。

これに伴いまして、下側の1日当たりの貸出点数であったり、1日当たりの入館者数も、開館日数に関して計算しておりますので、こちらのほうも数字のほうは変わってきております。本日は修正版をお配りしました、そちらのほうを、ちょっとごらんになられたらよろしいかと思えます。

全体的にマイナスがすごく目立つような平成30年度の館別の指標となっておりますけれども、この紙の裏側に、中央図書館を除いた5館の実際状況を、こちらのほうで計算しております。その場合は、貸出点数におきましても入館者数におきましても、1日当たりの貸し出し、または入館者数におきましても、マイナスではなくて伸びておるとい形になっております。

では、最初のほう、表面のほうでマイナスの要因が大きいのが、結局、中央図書館が今回リニューアルをしておまして、2月1日から3月22日までの休部分のこの影響はかなり大きくなってきているということでございます。

では、もう1枚のほうの紙の、今度は市立図書館全館での各種指標でございます。こちらにおきましても、ちょっと若干修正がございまして、修正がかかったところが、移動図書館管理運営業務、下から3番目なんですけれども、左側に事業の内容が書いてあるんですけれども、この中の移動図書館管理運営業務、この中の巡回日数に誤りがございまして、こちらも修正いたしております。これは、巡回日数が、最初にお配りしたのが256日でお配りしておったんですけれども、臨時運行分の10日間を加算しておりませんでしたので、こちらを加算して266日というふう

に修正のほうをしております。

では、一番上の基本指標を御案内したいと思います。市立図書館全体といたしまして、貸出点数、入館者数、蔵書冊数、市民1人当たりの貸出点数の目標値というのが掲げておまして、それに対しての実際の実績のほうになるんですけども、まず貸出点数は目標値を175万点といたしておりました。30年度の実績が139万635点、前年度の増減といたしましては8万4,626点の減となっております。

その下の入館者数でございます。これは74万人を目標といたしておまして、平成30年度実績が70万842人、増減といたしまして3万2,935人の減。蔵書冊数におきましては、70万冊を目標といたしておまして、これまでの計画的な資料整備により、平成29年度にこの70万冊のほうを達成いたしております。

なお、29年度以降におきましては、資料の鮮度を保つために除籍を計画的に行っております。

次の、市民1人当たりの貸出冊数、日本一本を読むまちを目指しておまして、貸出点数を10点の目標といたしております。平成30年度実績が7.2冊、前年度の増減といたしましては0.36冊の減となっております。

今回の貸出点数、入館者数におきましての減は、先ほど申しましたように中央図書館のリニューアルという部分の影響は、かなり見受けられると推測されます。

以下、下に7つ事業がございますけれども、こちらのほうも、前年度比マイナスが多く見受けられます。多分、今度、平成30年度をベースに令和元年度の数字が出てきたときには、この場合、プラス方向に転じるのではなかろうかと思っておりますけれども、やはり30年度というのはリニューアルがあったという部分で数値のほうは下回ったと思われる数値がかなり見受けられます。

以上、平成30年度の御報告とさせていただきます。

○会長

今のは、全体でのことですね。

○事務局

そうですね、はい。

○会長

それでは、各館のということで、よろしいですね。どうぞ。

○委員

今の説明を伺ったときに、元年度目標値というのは、今年度の目標値ですね。

○事務局

はい。

○委員

だから、ここに書いてあるのは、今年度、この目標値でいきますということで、今何か、この目標をしていたところ30年度実績はこれでしたというふうに言われたと思うので、この目標値が30年度の目標値かと思ってしまったんです。できれ

ば、この表の中に、30年度の目標値がこれであり、実績がこうであると、もう一段あると、目標値に対して実績がこうだったというのがわかるかなと思います。

#### ○事務局

目標値が、かなり大きな目標といたしますか、この目標値が毎年毎年変わるという形の数値ではございませんで、先ほど言いました、例えば市民1人当たりの貸出冊数10点というのは、すごくハードルが高い数値となっております、これは昨年、この数字に基づいて目標設定を掲げておるという形です。

#### ○会長

〇〇委員さん、ありがとうございました。

よろしいでしょうか。まだ御質問あるかと思えますけれども、次のときにしたいと思えます。

それでは、各館からお願いいたします。各館の順に、取り組みとか、30年度のところとか、事業実績、令和元年度の事業予定というふうに伺っておりますが。

#### ○中央図書館長

中央図書館から。説明させていただきます。

平成30年の中央図書館の主な取り組みは、こちらのほうに記載させていただいております。まず、館内の事業は、昨年度末にリニューアルオープンいたしましたスペース、共同スペースと、エントランスエリアを共同スペースとし、共同利用スペースを整備いたしました。

利用層の拡大といたしましては、「図書館薩長同盟」に関する講演会・企画等を行いました。これは、こちらの長州のほうからも松前先生、薩のほうからは松尾先生をお呼びしまして、そういう講演会を開いたということでございます。

また他の部署、民俗歴史資料館と、他の部署、歴史に関係ある他の部署と共同いたしましたして、「やまぐち歴史講座」と「健康づくり講座」というのを市の他の部署と協力いただきまして行いました。

それから民間業者も含めた多様な主体と連携した取り組みを行いました。

それから、全館で、ことしもそうなんですけれど、昨年も、こどもワイワイ図書館を4月末に開催いたしました。

子ども読書推進といたしまして、絵本作家、黒井健さんを講師とした行事などを行いました。

4番といたしまして、計画的な設備・備品等の更新、移動図書館・配本車等の更新、配本車がこのたび更新いたしまして、本年度より拠点整備をいたしまして、各移動図書館の充実を図っているところでございます。

続きまして、平成31年、令和元年の主な取り組み予定といたしましては、利用層の拡大といたしまして、「図書館薩長同盟」に関する講演会や企画などを引き続き行っていければと思っております。

また、他の部署と連携した「健康づくり講座」、これは今年度の健康づくりに関しまして行いまして、図書館の周りをウォーキングしようということで、それによっ

て、中央図書館の健康づくりに関する図書などを読んでいただければということで行っております。

民間事業を含めた多様な主体と連携した取り組み。これはまちじゅう図書館で連携しておりますカフェ等と連携しながら、講座等を開いていければと思っております。

それから、まちじゅう図書館の実施、これは何度も説明しておりますが、市内のカフェ等に本を50冊毎月デリバリーいたしまして、中央図書館の本を、もしくは全ての本を宣伝していくということになっております。

なお、デリバリー先のカフェ等に関しましては、中央図書館のほうの共同利用スペースのほうで講座をとっていただくということを考えております。

子ども読書活動の推進に関しましては、クリスマス等の時期を捉えて、絵本作家等を講師としてお招きして講座等を持ちたいと思います。また、本市にゆかりのある著名人による講演会、保育園への配送サービスなども今後新たに実施していきたいと思っております。

移動図書館の北部地域のサービスの充実でございますが、先ほども申しましたように、「ぶっくん」の新しいものを、阿東図書館のほうを拠点といたしまして、地域サービスということを充実することと目指しております。

4番、計画的な設備・備品等の更新、これは図書を新しく選書をいたしまして、なお、選書と図書の除籍を進めて、リニューアルといいますか、新陳代謝を促進していきたいと思っております。

県央連携中枢都市における共同事業の実施。これはまだ具体的なものは決まっておりますが、先ほど言いました中で、このたび山陽小野田市を加えさせていただいて、7市町の図書館におきましては、山口市図書館での利用ができるというふうに拡充してまいっております。今後、その7市町で共同的にできる事業を模索してまいりたいと思います。

以上が、中央図書館の主な取り組みと、今後の令和元年の取り組み予定でございます。

#### ○会長

それから、全部を聞いてから、皆様方に御質問等をお願いしたいと思いますので。それでは小郡図書館、お願いします。昨年度のことですので、なかなかではございます。お願いします。

#### ○小郡図書館長

小郡図書館でございます。昨年度の主な取り組みといたしましては、小郡図書館10周年を迎えまして、利用者拡大と施設の充実を図ると、そういったことで、第10回小郡図書館まつり、これ開館10周年記念事業でしたが、これも充実を図りました。そして、小郡図書館友の会、中原委員さんがおられますけど、事務局長さんもおられますけれども関係団体との連携を強化いたしまして、イベントの実施、充実、これはもう今年度もつながることでございます。

それと、閉架書庫の機能や活用方針について検討いたしました。10周年、まだ10年なんですけれども、やはり施設、壁等にクラックが入っているところとか、雨漏りがしているところが多少見受けられます。その施設の補修、修繕を行いました。これはまた、予算の関係がございますので、引き続き来年度続けていきたいと思っております。

2番目といたしまして、広報活動の強化として、図書館だよりとホームページの充実を図りました。

令和元年度の主な取り組みの今年度の予定ですが、今年度は入館者、平成20年に館が開館いたしまして150万人達成が見込まれます。さらなる利用者層の拡大と施設の充実を図るということで、大体秋ごろ、9月か10月ごろには、150万人目のお客さんが来られると一応予定をしております。その達成イベントの開催ということで、これもまた、中原委員さんのお知恵も拝借いたしまして、また皆様のお知恵も拝借いたしまして、イベントの実施を考えております。

それと2番目といたしまして、「他機関」とありますが、敷地、歩いて20秒ぐらいのところの小郡文化資料館というのがございます。それとの、やはり文化的な連携強化というのを図ってみたいと思います。

小郡文化資料館では、年に何回か歴史講座というのを開いておられます。そこで講座の話題となる資料とか、そういった関連した資料等が、当然、図書館の中に蔵書等がございますので、そういった貸し出しとか紹介とかも、まずそういうところから始めていって、地域的な文化の発進拠点といいますか、そういったものを高めていきたいと思っております。

3番目の広報活動の強化といたしまして、南部地域の小中学校、交流センターへ図書館だよりというのを毎月発行しているんですが、それも配布して、とにかく、まず子供たちの本を、子供たちに図書館を利用していただくと、そういったところから始めていきたいと思っております。

以上でございます。

#### ○会長

ありがとうございます。それでは、秋穂図書館、お願いいたします。

#### ○秋穂図書館長

まず説明に入る前に、資料の訂正のほうをお願いいたします。今の最初のレジメなんですけれど、30年度の主な取り組みのところの②のところ、子供対象の「ビブリオバトル」、これを「文化財教室」に変えていただけますでしょうか。それとも一つ、平成30年度山口市立図書館運営状況で、大きくりの2の中で秋穂図書館、ここも同じように「ビブリオバトル」のところを「文化財教室」のほうへ、済みませんが訂正していただければと思っております。

それでは、御説明させていただきます。秋穂図書館でございます。3年務めておりましたけれども、地域図書館として素地を固めるということで、それを目標に、30年取り組んでまいりました。その姿勢が、まず多様なニーズに対応する読書環

境づくりでございます。

企画展示の充実ということでございますけれども、本屋大賞とか直木賞、芥川賞、こういう比較的利用者の方に興味を引くようなものが発表されれば、その作家さんの書かれた本を企画展示する、また、利用者の方が興味のあるような、そういうものを、意見をいただきながら企画展示をしていったところでございます。その中で、私は今年度、ことしの1月ごろから、発達障害の関係の本を企画展示でしているところでございます。

また講演、講座については、図書友の会の方等の御協力を得ながら、進めまして、いろいろな開催をして、多くの方が参加していただいております。

次に、②の子ども読書活動の推進でございます。御案内のとおり、私どもの図書館は子供さんの利用の割合が大変多くございます。特に、未就学時、低学年の子供さん、小学校の方の御利用が多くございます。そういう関係で、まずは学校との連携ということで、いろんな意見交換も学校としております。

その中で、夏休みに入る前に、各学校の校長先生と、いろいろ図書館の図書推進の先生とのいろいろお話なんですけれども、その中で、夏休みの自由研究に図書館が寄与することは何かできないだろうかというふうに提案を受けまして、昨年度は文化財の教室を開いてみて、それと図書館の本等を利用して、そういう教室のイベントをやりました。かなり評判のいい教室だったなど、手前味噌ですが、私も思うところでございます。

また、未就学の子供さんを対象としたDVDの上映会のほうも、お話会にセットにしながら開催いたしました。

3番目の図書館の協力団体との連携強化でございますが、開館以来、私どもの図書館は、協力団体の協力なくして発展することができなかつたような状況でございます。先ほどの資料を見ていただいたらわかりますけれども、利用者数が5.3%も伸びたということも、これはその効果があったのではないかなと思っております。

次に、令和元年、今年度の主な取り組みですけれども、30年を踏襲して、来年度、先の話になりますけれども、来年度は10周年を迎えますので、地域図書館としての素地を特に固めていきたいと思っております。

その中で、特に図書館スタッフと利用者の方のコミュニケーションを、しっかり充実させていきたいなということで、丁寧な対応を含め、そういったことをしていきたいなと思っております。

学校との連携につきましては、今後、昨年度と同様に、意見交換をしながら、学校の求めるもので、うちに対応できるものがあれば対応していきたいと思っております。

最後に、図書館協力団体との連携強化でございます。私ども、これをなくして発展する、秋穂図書館は、発展することはできないと思っておりますので、しっかり私も協力団体の御意見をお伺いしながら、しっかり対応していきたいと思っております。そして、今地域図書館としてのしっかりした素地を固めていきたいと思っております。

いるところでございます。

以上です。

#### ○会長

阿知須、お願いいたします。

#### ○阿知須図書館長

平成30年度の事業実績のシート、阿知須図書館のほうのルールに従って、まず簡単に説明させていただきます。

阿知須図書館の平成30年度の事業実績のところ子ども読書活動につきまして、好きなお話などの展示を、7・8月にほぼ2カ月間、展示ロビー、阿知須図書館に入ったところに展示ロビーがございますけれども、そこで行っております。

それとボランティアによる「おはなしきらきら」さんのお話し会を、毎月第3土曜日に館内で行うんですけれども、年間では12回、毎月行っていただいて、74名の方に御参加をいただいております。

また、子供向けDVD上映会、これは年間を通して、4月の子ども読書週間、夏休み期間、きらら館まつり、クリスマス時期、春休みに、1年間を通して16回行いまして148名の方の子供たちの参加をいただいております。

それから、学校図書館支援につきましてですけれども、中学校の職場体験受け入れということで川西中など3校から8人、延べ7日間、この受け入れを行うものに、阿知須小学校2年生、これなんですけれども、103名の図書館見学を受け入れまして、図書館の利用について学んでいただいております。また、学校連絡会議を開催いたしまして、阿知須地域の小中学校の先生との情報交換をしっかりと行うことによりまして、図書館に充実してほしいという学校からの要望もある蔵書なんかもしっかり取り入れて、綿密に連携をとることで学校図書館の支援体制の強化を図っております。

行事につきましては、この11月3日にきらら館まつりを行いまして、833人の入館者を集めておりますし、4月29日のこどもワイワイ図書館では、おひなまつりとか、鯉のぼりをつくろうとか、子供たちに体験してもらって、バルーンアートワークショップなど喜んでもらうような形で、350人を集めております。

それと7月も七夕飾りということで、館内に笹を立てまして、願い事を書いた短冊を集めまして、それを七夕飾りということで、この行事には238人の市民の方の参加をいただいております。

また、昨年度ならではの阿知須図書館の行事ですけれども、「阿知須図書館は15歳」を開催いたしております。阿知須図書館は平成13年の山口きらら博の市町村館を再使用して、平成15年に開館したものなんですけれども、昨年度15年目となりましたので、ほぼ1カ月間、開館当時の様子を撮ったDVDの上映とか、図書館の建物ができる過程の写真展、阿知須にかかわる郷土本のコーナー設置とか、そのちょうど15年前にどんな本がはやっていたかなんかのそういう本を集めて、展示会のほうをやっております。

以上が、簡単ですけど、30年度の実績で主な取り組みでございます。

令和元年の主な取り組みの予定でございます。3本柱で考えています。1つ目の利用しやすい環境づくりとしては、地域の方々に親しまれる図書館ならではの取り組みとして、丁寧な接客対応ということを含めて以上を一層こだわっていききたいというふうに思っております。地域の方に図書館をサードプレイスとして快適に利用していただけるように、コミュニケーションの構築にも取り組んでいきまして、利用者の拡大にもつながっていききたいというふうに思っております。

また、資料展示コーナーも、大人、子供ともございますけれども、毎月利用者に興味を持っていただけるテーマを探しまして充実させてまいります。

また、旧阿知須町公民館時代の蔵書で内容が古い本とか、市立図書館にもあるような本を中心に除籍を積極的に行うことで、新鮮な蔵書が書架に並ぶように努めまして、図書館を市民に利用しやすい環境となるように努めてまいります。

2点目でございます。阿知須のところですけども、新たな利用者の拡大促進でございます。引き続き、ことしも、昨年もやったんですけども、阿知須に隣接する佐山地域交流センターに阿知須図書館の図書館だよりをしっかりと置いていただき、利用の少ない佐山地域の方に阿知須図書館も使っていただけるように情報発信を努めてまいります。今阿知須図書館の有効登録者で、佐山地区だけで4.8%しかないんですね。これを増やしていこうというふうに思っております。

また、2回のイベントのうち、今から秋の図書館まつりがございますけれども、参加型イベントや市民に興味を持っていただけるような企画を計画いたしまして、来年の来館されるきっかけづくりとなるような、そして新たな図書館の利用者の拡大につながるような企画を計画していきたいというふうに思っております。

今、阿知須図書館では、入ったところにロビーがございます。一般市民に親しみを持って来館していただけるように、この展示ロビーを開放していますけれども、絵画展や写真展等、いろいろな展示を行いまして、広く市民の方に来館していただけるように工夫して、積極的な活用を図っていききたいというふうに思っております。

また、3点目に、学校等との連携強化でございますけれども、小中学校の図書先生との連携ももちろんなんですけれども、隣に保育園がございますので、保育園の子供たちに積極的に本を借りていただくように、年長さんに特にカードをつくってもらって、利用者カードをつくってもらうように、ことしもまた働きかけて、本を通じた交流を進めていききたいというふうに考えております。

簡単ですが、以上でございます。

#### ○会長

ありがとうございました。

それから、徳地、お願いします。

#### ○徳地図書館長

徳地図書館でございます。

まず30年度の実績、利用実績でございますが、行事につきましては、従来の行

事を踏襲しております、新たに歴史座談会という形で徳地地域の偉人でございます「重源上人の里を語る」という会を催しておるのが新たな事業でございます。

また、職場体験で高校生1名を入れております。この高校生も、ちょっと中学校中は、いろいろ苦勞された学生さんで、徳地の佐波分校の受け入れている生徒さんなのですが、挨拶するときに緊張して言葉が出ないという形で、何とかそれを自分で殻を破りたいという思いで、うちの図書館を職場体験で選んできまして、当初、なかなか声が出なかったんですけど、いいことか悪いことか、うちは高齢者の来館者が多いので、その影響でしょうか、どんどん心を開いてくれて、2日目には自分から挨拶ができるようになったと、本人も先生もそれを大変喜んでくれたという形で、その職員等も感動した事例でございます。高校生1名、2日間でございますけど、中身ある職場体験ができたのではないかなというのが平成30年の実績でございます。

それでは次に、令和元年の主な取り組みでございますが、30年度の主な取り組みを、それを踏襲したような形でございます。

まず歴史講演につきましても、幕末維新関連の歴史講演を開催する予定といたしております。これも明治維新150年が終わってから、何か問い合わせが逆にふえてきているような形でございますので、ぜひ放談話会の代表の方も開催したらということでございますので、本年度もやっていきたいと思っております。

2番目に地域歴史に関する座談会という形で、昨年度から始めました重源上人の話とか、いろいろ座談会をやっております。また、徳地には島地黙雷という形の偉人もございますので、このあたりも島地地区からの話が出ておりますが、何とか価値起こししたいなと思っております。

そのために、徳地に小中学校でふるさと学習がございまして、昭和53年かぐらいだと思うんですが、その中の授業の一つとして、地域の方々から、昔話を聞いてくるという総合学習がございまして、その中から小中学校の先生方が選ばれて、小冊子が編集されました。その中でも重源上人にまつわる話が、そのうちで4割近くありますので、この徳地の昔話を活用した、新しい、対象はもうどちらかというと高齢者になると思うんですが、余り難しくない、この昔話からちょっと重源上人の偉業をもう一度確認できるような座談会を開催したいなというふうに考えております。

それから3番目が、地域の展示等の情報発信でございますが、引き続きまして、地域内で活動されております団体の方に、図書館の場を提起してございますので、いろんな展示、今は俳句の会の方とか、あとは林業セラピーの会と農林業でございますので、そのような形、あとは写真の会ですかね、このような方とお話聞いておりますので、その方にぜひ使って、情報発信をしていただくことを目標といたしております。

以上でございます。

○会長

それでは、最後になりましたが、阿東図書館、お願いいたします。

#### ○阿東図書館長

阿東図書館ですが、30年度の実績をつきましては、A3のほうをお願いいたします。

まず、子ども読書活動推進事業で、好きなおはなしの絵の展示を、6月12日から1カ月間行いました。

職場体験につきましては、町内の阿東中と隣の津和野高校から、それぞれ各1名受け入れております。

行事は、図書館まつりを8月5日に実施して、昨年より30名ほど多い819名が来場されました。

こどもワイワイ図書館では、昨年より100名多い439人の来場がありました。これにつきましては、隣の津和野から来られた方が多くいらっしゃったようでございます。

それと、例年の工作教室ですが、おりがみ教室と、ことしは新たに消しゴム判こ教室を実施いたしました。新たに実施した消しゴム判こ教室が、子供たちに意外と好評でしたので、新しく行事を実施してよかったと思った次第でございます。

DVD上映会につきましては、29年度は年に2回の実施でしたが、30年度は子供向け6回、大人向け4回ほど実施しました。来場者は余り多くはなかったんですが、これが定着すればというふうに思っておりまして、今後も続ける予定ではございます。

30年度につきましては、以上です。

令和元年の取り組みとしては、A4のほうの関係をお願いします。図書館の利用促進ということで、イベント開催では、こどもワイワイ図書館や図書館まつりに加えまして、本年度もDVD上映会をぜひ開きたいと思っております。実を言いましたら、参加者は多くないんですけど、継続することで図書館でDVDの上映会をやっているということが認知されまして、図書館の利用につながればと思っております。

それと工作教室を年に2回行います。これにつきましては、図書館だよりのほかに、阿東には各戸に防災無線というのがありまして、それが利用できますので、これを使いまして周知をしていきたいと思っております。気楽に入れる図書館づくりということで、資料の展示公開も必要なのでございますが、阿東図書館、地域交流センターと並列なので、多くの方が交流センターのほうのエントランスを使っているということがあります。そういうことで、よく挨拶をし、また、飾りつけなどをして明るい雰囲気をつくりまして、気楽に図書館に入ってこられるようになればと思っております。

そのほか、阿東町内の小中学校各校に加えて、阿東の徳佐のほうへ徳地の柚木の方が買い物や病院に来られますので、柚木の活性化センターと交流センター分館に図書館だよりと新企画の案内を配布していきたいと思っております。

2番目の各分館配送サービス事業でございますが、先ほどありましたが、28年から阿東町の分館に配布をしておりますが、30年度、実績ありましたように、貸し出しが191冊と返却が231冊というところですが、これは年50回実施しております。それで、この数字ということで、まだまだ周知不足と思います。図書館だよりに加えまして、今年度から各分館が分館だよりを出しておりますので、これのほうにも載せていただきまして、周知をしていきたいと思っています。

3番目の移動図書館の周知ですが、本年度、阿東と徳地地域を対象とする移動図書館が阿東へ新たに配置されます。ということで、各種イベントに参加したりして利用を促進したいと考えております。

以上です。

#### ○会長

どうもありがとうございました。

それでは、今、各館から御報告いただきましたけれども、平成30年度事業実績及び令和元年度事業予定ということで、何か御質問等あれば、お願いいたします。

#### ○副会長

ちょうどこれ対称になっていて、見比べると、わかりやすくなっているのですが、中身のところで、ちょっとお伺いしたいのが、中央図書館ですね、民間業者、その多様な主体と連携した取り組みということで、この民間業者というのは、前にちょっと話題になりました書店だとかが中心なんですか。

まちじゅう図書館というのは、カフェと言われてましたが、書店が本屋さんに本を貸し出すのはおかしいので、これ民間業者は何かたしか、書店で何とかって横文字のことをしたいとか言いながら、いや、それはちょっと公共図書館でどうかみたいな意見が出ていたと思うんですが、その辺、どうなったんでしょうか。

#### ○会長

館長さん、お願いいたします。

#### ○中央図書館長

恐らく、今言われたのは、図書館サービス計画をつくったときに出たお話だと思います。今のところ、今、カフェに対しまして、まちじゅう図書館ということを進めていって、今はカフェ中心になっておりますが、将来的には、本を配るというのは置いて、例えば民間の書店と協力しながら、そういうようなことをやっていけるようなことができたらいいなという部分で早期計画のほうでお出ししている分には、言われることだろうと思いますので、それはちょっと今のところは進んでないようなところでございます。

ただ、今のところ、民間企業として、今30年度でやれたことといたら、まちじゅう図書館で御協力いただいたカフェとの連携ということは、達成できておりまして、31年度から、これちょっと広げていく予定でございますので、その中で、その今言われたことを広げていけたらいいなというふうに模索はしているのですけれど、ちょっと模索段階ということでございます。

### ○副会長

わかりました。今年度事業で次年度はないとか、新しくされるということはわかるんですが、例えば中央図書館「やまぐち歴史講座」というのは、こちらには新事業には入ってないですね。それはいろんな事情があるのか、あるいは年度ごとに真新しく変えていくという考えなのか。秋穂図書館で多様なニーズに対応する、丁寧な対応、あるいは利用者とのコミュニティの充実、逆に言えば、今丁寧な対応をしていないという反省から次年度はこういうことに。

### ○秋穂図書館長

いや、それは丁寧な対応はしていると思うんですけど、さらに上げようとしていたと思っていただければありがたいと思います。

### ○副会長

わかりました。それから、あとサービス計画ですから、図書の購入種類計画は、また別にお立てなんですね。つまり、どういう種類の図書を、今年度は何を何%充実するとか、あるいは、どこに主眼を置くとか。例えば、子供だったら学校指定図書、推薦図書とか、あるいはそういった児童文学だとかの新しく出てくるものもありますし、あるいは、本が破損してなくなった場合でも、結構需要があるのも、同じものを買うとかですね、あるいは分野の中で、例えば一般の大人だったら、今度、令和改元の中で、例えば代表をされたとか、いろいろ出てくるとき、何だあれというふうなことでの、そういったものも需要があると思うのですが、そういったアンケート、それからそれに対する本の種類の購入計画、これはまだ別で考えてよろしいんでしょうか。

### ○中央図書館長

中央図書館におきましては、各館におきましてですけど、毎週1回、選書委員会というのを設けておまして、選書委員会の司書を含めた職員会議なんですけど。それともう一つ、今アンケートのことをおっしゃいましたけれど、アンケートを行うのもなかなか時間の差が出てきますので、今リクエストというのをお受けしているというのが現状です。だから、よく新聞の下とかに雑誌だとか、書籍の広告や書評、結構それに反応されてリクエストとかされております。リクエストに関しましても、基本的にはお受けするという形でしておりますので、ちょっとアンケートするとどうしても時間差が出てきますので、それぞれリクエスト、本のリクエストにおこたえするという事で対応ということになっております。

それと、選書委員会も、月ではなく大体毎週行っておりますので、時期的なそういうものに関しては、リアルといいますか、即応ができるような形で対応させていただいておるのが現状です。

児童書に関しましては、やっぱり児童担当の者がおまして、児童専門の部分のものに関しましては、そういう者が手際よく選書させていただいておるのが現状です。

それと各担当で、担当といいますか、図書の分類があると思いますけど、その分

類に分かれて、本が傷んだものであるとか、条例とか何とかの改正によって、これは今ちょっと意味がないものだとかいうものに関しましては廃棄という形でさせていただいておるものもありますし、例えば、今言われた大変、皆が好まれるものが、ちょっと崩れてしまったというときは、あればいいんですけど、ない場合はちょっと仕方ないですけど、ちょっと中古で探させていただいて、購入させていただいているということはありません。

ただ、一つ問題なのが、その直木賞とか、いろいろ芥川賞というのをとった本がすごい人気あるんですけど、余りそれをそろえちゃうと、書店さんが今度は売り上げの問題とか出てきますので、そのあたりの度合いも確かめながら選書させていただいているのが現状でございます。

ただ、今回の、この取り組みとあれとは別の話であります。

#### ○副会長

わかりました。

最後にちょっと教えていただきたいんですが、徳地図書館で島地黙雷、これさっきちょっと説明されていたんですが、人の名前なんですか。

#### ○徳地図書館長

はい。黙雷上人というんですね。

#### ○副会長

黙雷上人、お坊さん。

#### ○徳地図書館長

島地に来て活動されたので、島地黙雷ということだそうです。

#### ○副会長

地名で黙雷というお坊さん、ああ、なるほど。それはいい。ありがとうございます。いいです。

#### ○会長

ありがとうございます。まちじゅう図書館というのは、決して中央図書館だけではないんですね。まちじゅう図書館を目指しているのはサービス計画上のことですよね。

#### ○中央図書館長

平成、要するに去年度、30年度に関しましては、ちょっと試験的に今やらせていただいておりますけど、今後は予算内で、今どっちかというと、山口市、旧山の中をやらせていただいておりますけれど、今後は他の館でも、他の地域にも波及させていきたいと思っておりますけど、期間的に持っていったり、そういう移送とかするのは中央図書館でさせていただくことにはなります。

#### ○会長

決して中央図書館だけがやることではないので、今から広げていく。だから、前も、前回、新しい方いらっしゃいますけれども、施設とかカフェに限定しなくてもという横の何か広がり、地域のつながりと、それから施設のつながりとか、何か

いろんな広がり方あると思うんですけども、余りに中央図書館中心に考えられると、ほかの図書館もあるので、その辺を山口市全体として考えていただきたいということと、吉村先生は、多分中期、長期はどうですかということじゃないかと思う。だから、1週間ごとに選書委員会を開くからというんじゃないくて、じゃあ本年度は、昨年度は、例えば150周年だから歴史の講座があったと。今年度は、ちょっと子供のことだとかいう何か方針みたいなのがありますかという質問だと思いますけれども、各館ですすね。横並びもいいですよ、毎年、去年やったことを。でも、ことしはこの部分に重点的にというのもあってもいいんじゃないかというふうに、私は勝手に解釈しましたけれども、そういう感じではなかったですか。

#### ○副会長

はい。材料別にどれを重点かという意味だったんですが、確かにどこを充実させるかという方針、やっぱり何か方針というのが立てるということも必要なのかなとは思いますが。

#### ○会長

それは地域によって、そこは違うと思いますよね。御高齢の方が多い場合と、ちょっと子供が多い場合には違ってくると思うので、その辺も加味していただきたいなというふうに、今感じました。ほかに何かあれば、お願いいたします。

#### ○委員

3点ほどあります。1つは、平成30年度の主な取り組みのところに、中央図書館として、ぜひ図書館まつりが15周年、第15回だったということを入れていただきたかったかと、小郡図書館のところには、図書館まつり開館10周年記念ということであったんですけども、かなり昨年度の図書館まつりについては、協議を重ねた上で企画をしていったので、主な取り組みであったように私は思っておりますので上げていただけたらよかったですと思いました。

それから、吉村先生がおっしゃったこととちょっと関連するんですけども、今、令和元年度の主な取り組みの中で、民間事業者も含めた多様な主体というところの、カフェをさらに広げていく計画があるというふうに言われたんですけども、広げるに当たっては、ある程度、協議会で、こんなふうな方針でこういうところにも広げていきたいって、広げていくつもりであるということが、ちょっと示していただけるとありがたいなと思いました。いろんな考え方があると思いますので、ちょっとその方向で広げるのはどうだろうかというような意見も出るかもしれないなというところもあるので、ちょっと諮っていただけるとありがたいと思います。

というのが、民間事業者に関連して図書館の利用をふやしていくというのは、とてもいいことだと思うんですけども、例えば、病院だとか、今そういうサービスが行ってない、その他のところで、もっと必要とされているところもあるんじゃないかなという気がするので、そのバランスを考えたときに、民間事業者をどんどんどんどん連携することをふやしていくことがすごく大事なのか、それとももっと何ていうか、図書館の利用を求めているところを探していくことが大事なのかという

のは、まずバランス考えたときに、いろんな考え方がああるんじゃないかなと思うので、ちょっとこの件に関しては、また、協議会で話ができたらなというふうに思いました。

それと、3点目は、全体に関係することなんですけれども、「主な取り組み」と書かれると、どうしてもやっぱりイベント的なものが並んでしまうんですけど、やっぱり私は、図書館の基本って蔵書計画というか、さっき吉村先生が言われたものが大きなものになる気がするんです。本あつての図書館なので。それを考えると、常に上げていただきたいのは、地域資料を収集するという、山口市に関する資料というのは山口市が集めないと、広島市が集めてくれるわけでもなく福岡市が集めてくれるわけでもないの、やっぱり山口市に関する資料は山口市が集めていくという方針は、毎年、主な取り組みに上げていただきたいなというふうに思いました。主な取り組みであつて、新たな取り組み予定ではないので、これはちょっと毎年外さずにしていただけたらと思います。

#### ○会長

ありがとうございます。サービス計画の中にも、もちろん地域資料収集というのは入っているかと思しますので、その辺、よろしく願いいたします。

それと、今ちょっとお話を聞きながら思ったんですが、意見が出て、じゃあ次どうするのかというのが、次の協議会で回答していただかなければ、例えば、今希望としては、民間事業者云々とか、その広げ方ですよ。そういうものを私どもに提示していただいたい。そうすると、もしかしたら皆さんの意見が違ふかもしれないのでという部分を、必ず意見が出てきたことは、議事録でとどめるんじゃないくて、じゃあそれをどうしますというようなバックが必要かなと思ったのと、もう一つは、資料が実はバラバラで見にくいんですよ。普通、会議資料ってまとまってませんか、1ページから、ページ何ページをござんくださいっていうふうになると思うんですけど、これ過去においてお願いしたことがありました。ただ、今もうこんな感じでA3と言われる方もあれば、探さなくちゃいけないので、やっぱりきちとした形、それから訂正があつても、その場で、ここで配付されても結構ですので、通し番号をつけたようなものを、できるだけ早く委員の方にお届けすると。それから、もう委員の方はござんになっていると思うので、報告も、そこは手短にやっていたきたいなと思っています。何か意見が出たら、それは回答をよろしく。今でなくても結構ですのでお願いいたします。

ほかに何かありますでしょうか。地域資料については、各図書館でお考えいただきたいと思ひます。そこでしかない、秋穂なら秋穂、阿知須なら阿知須、さっきの何でした、島地黙雷上人のことも、そこでしかないというようなことで、重源上人もそうか。

ほかに何かあればお願いいたします。まだ御発言いただいてない方もあるかと思ひます。どうでしょう、何か御質問等あれば。

#### ○委員

では、せっかくですので。阿知須図書館のところでお話会なんですけど、私たち「おはなしキラキラ」は、学童クラブさんのほうに毎月行っていたんですけど、今は夏休みスペシャルで、井関小学校さんが1回と、阿知須小学校さんの児童クラブさんの2回なので、多分40名ぐらいいらっしゃるんで、その分でお話会、大体ですけど120人います。夏休み開催していますけど、会場が図書館ではないのでどうかなと、思っています。

#### ○会長

〇〇委員さんの御指摘のように、私も何で15周年の名前が中央図書館にないのかと思ったりしました。その点、小郡は10周年入ってくるし、そのボランティアの「鉢の子」もちゃんと入っているけれども、じゃあ、ほかのところは、何かどうい関係にあるのかなと思っています。図書館友の会という考え方が、本当はちゃんと聞きたいなと思っている次第です。そういう活動を地道にやっているところのものとの連携をとるって、簡単に言うんじゃないくて、その辺をきちっと書きとどめていくことも必要かなと思っています。

ほかに何かあればお願いいたします。

#### ○委員

報告ですけど、去年私が団体の「こどもと本とジョイントネット21・山口」では、会場を探していて、中央図書館では、ちょっと無理だと言われたので、小郡図書館のほうが、ぜひ使ってくださいと言われましたけれども、結局、秋穂図書館をお借りして講演会を開催させていただきました。とても資料等を集めていただくのに協力していただいて、充実した講演会ができました。やっぱり図書館に関連する講演会というのは、ぜひ図書館で開きたいという講師の方の願いもあって、この中にも、ここにいらっしゃる方も参加していただきましたけど、本当にありがとうございました。そういう図書に関連した団体との協力を図書館にさせていただけると、本当にありがたいと思います。ありがとうございました。御報告です。

#### ○会長

中央図書館は難しかったということ。

#### ○委員

中央図書館は、会場とかは、共催ではないと無理だとか、いろいろありましたので、小郡図書館では、登録団体になれば、簡単に貸してあげるからどうぞと言われたんですけども、ちょっと担当のほうに秋穂だったもので、秋穂でやらせていただきました。

#### ○会長

ちょっと広く使えればいいですね。

ほかに何かありますでしょうか。いいですかね。

ちょっと時間もあれですので、これまた最後にまとめてお聞きしますので、それでは、こどもワイワイ図書館の実績報告ということで、これまとめてお願いできるんです。事務局にお願いいたします。

### ○事務局

では、お配りしておりますこどもワイワイ図書館、これ、先月、4月28日に市内6館同日開催いたしました第5回こどもワイワイ図書館の実績報告をいたします。

毎年、各種趣向を凝らしたイベント内容で恒例となっております行事です。

今回は、10連休の影響も若干あった様子で、前年度より全館の部分で259人の減というような形にはなっておりましたけれども、この中身につきましては大変盛り上がったというふうに聞いております。

なお、本日、御欠席になられておられます大野委員さんが、お忙しい中、6館全てを巡回されて、記録映像、映像を記録していただいております。本来であれば、その様子を、たしか去年も見せていただいたと思うんですけども、きょう欠席という形の中で、次回をお楽しみにさせていただけたらというふうに思っております。

中身につきましては、各館がこういった形でやりましたということでございます。以上でございます。

### ○会長

これに対して御質問ありますでしょうか。また後、最後、またまとめますので。それでは、その他なんですけれども、事務局から何かございますでしょうか。

### ○事務局

それでは、図書館システム、ハードウェアの更新につきまして御案内いたします。

前回の協議会でお話しはしておるんですけども、新しい委員さんもおられますので、市立図書館、これ全館で図書の貸し出し、返却、予約、検索等に、この図書館システムを利用しております。この図書館システムのハードウェアでありますパソコンのOS、Windows 7のサポートが来年の1月4日に終了いたしますことから、個人の大量の個人情報を取り扱っております図書館システムにおきましては、やっぱりその安全性を確保するために、今年度、ハードウェアの更新を予算計上いたしまして、交換するものでございます。

なお、日々の業務におきまして使用しておりますことから、この交換につきましては、システムを停止しなければ、ちょっと交換ができないということでございますので、今年度のスケジュールといたしまして、たまたま10月に阿知須図書館が蔵書点検に入ります。蔵書点検のときといえば、図書館自体も休館いたしますので、ちょうどそこに照準を合わせまして、10月に6館一斉に10月1日より休館いたしまして、システムのハードウェアを交換する、現在予定としておりまして、それに向けて、鋭意調整中でございます。

また、この機会に中央図書館といたしましても、来年の3月に予定しておりました蔵書点検を繰り上げて、ちょうどそのとまったときにやってしまうと、非常に効率的な交換作業ができるのではなかろうかという形で、中央図書館の蔵点も前倒しいたしまして、この期間で実施するという方向性で今進めております。

また、正式に日程等が決まり次第、広報等でお知らせしてまいります。

なお、現在の予定では、中央図書館を除く地域館におきましては、10月1日からスタートいたしまして、大体7日程度の休館になるのではなかろうかというふうな形でございます。これにつきましては、今、各館の図書館のカレンダーが、ちょうど9月までのカレンダーが今ございますけれども、この10月のカレンダーをつくるに当たりましては、これを反映させたカレンダーをつくって、周知のほうをしていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

**○会長**

今、地域館をおっしゃいましたけど、中央館は、

**○事務局**

中央館は、ちょっと蔵点自体がちょっと長くなりそうなので、確実な数字ではないんですけど、一応若干もう2日程度おくれたの立ち上げというか、開館になる予定ではございます。

**○会長**

じゃあ、10日間ぐらいかなという感じですかね。

**○事務局**

はい。

**○会長**

また決まりましたら、早目に、大学で言えば、後期が始まる、まあ小中高は、もう始まっていますけれども、試験等々、まだないかもしれませんが、利用者にとって、ちょっと困るところがあるかと思しますので、早目にお知らせいただきたいと思えます。

これにつきまして、何か御質問ありますでしょうか。

それでは、今まで通して余り時間はとれないんですけども、全体的に何か御質問、また言い残したとかいうことがあれば、お願いしたいと思います。

何かもう一遍、質問とか御意見、30年度、令和元年の取り組み。お願いします。

**○委員**

計画とかとはちょっと違うんですけども、昨年、岡山の人口5,000人のまちの図書館に友だちが働いているので。でも5,000人なんですけど、全国で貸出冊数が、冊数が多ければいいものでもないんですけど、蔵書が10万冊あって、もうそこでは町長さんの考えで、職員の方が全員、臨時職員さんとして、きちんと雇用されているので、通常業務、別にすごく時間がたっぷりあるので、すごくいろいろな取り組みをされていて、蔵書計画部分と予算ですとか、それからそういう職員の方がきちんと、いろいろなイベントを計画したりするだけのたくさんの方がいらっしゃるっていいなって思ったりしました。

ですけれども、それは、予算がかかるからあれなんですけれども、よくお話の会で、いろいろな館に紙芝居をお借りしに行くんですけども、紙芝居がとても探しくなくて、山口市中央図書館さんは、すごく多くてありがたいんですけども、低

いので腰がすごく痛くなって、それで申しわけないんですけど、秋徳図書館さんは少し高くなっているのを探しやすく、小郡図書館さんだと動物の本と乗り物の本のコーナーがきちんと、本棚が一つずつあるとかあるんですけど、紙芝居については、全部50音順になっているんですけども、昔話とか、行事に関するのを別に50音別とは項目だけ別にして並べていただいて、残りのものを50音順ずつにさせていただくと探しやすいなと思います。

#### ○会長

これ御回答は結構ですが、次回、ちょっと御検討いただいて、できないときにはできないとおっしゃっていただいても、これは仕方ない部分だと思いますけれども、ちょっと検討した結果というのを教えていただければと思います。

子供たちのほうは、子供が寝っ転がってじゃないですけども、低いところだけ、大人は確かに腰が痛いというようなことが、それができるのかできないのかというところもあるかと思います。よろしくお願いします。

何かよろしいでしょうか。よろしいですかね。何かあればお願いします。

#### ○委員

今日の報告とかのことは全然別に、その他のところで1件取り上げていただきたいところがあるので。もういいですか。

#### ○会長

はい、結構です。

#### ○委員

事務局の方に配っていただいたんですけども、「鉢の子10周年企画」というこういう紙があります。きょう、これは何かと言いますと、2年前のこの図書館協議会で、ちょっと館長さんに、中央図書館の館長さんにお尋ねしたことが発端で、市内の読書活動、読むだけではなくて、本をつくったりとか、誰かについて研究したりするグループとか、そういうグループについて、どういうふうな把握をしておられますかという質問から来た活動なんです。それで、市としては、別にそういう調べるということをやっていないということを受けて、私たち鉢の子は、いろんなところの読書会とかに出ていくと、転入してきた方が、こういう、どこに行ったらどうい読書会をされているというのがわかりますかという声をたくさん聞くようなことがわかりました。

なので、鉢の子10周年、ことし迎えますので、記念の事業として、そういうよそから来た人とか、住んでいる人もそうなんですけども、読書会はどこに行ったらやっているのかとか、布の絵本をつくっている人がおったら一緒にやりたいなという人たちが手に取ってわかるような冊子をつくることにしました。それで、去年の秋からいろんな団体さんにお声をかけて、そういう情報誌をつくる編集委員会を経て、もう来月の頭に印刷に入る状況です。きょうちょっと皆さんにお時間とっていただいたのは、そのできた配布物というか、冊子を置かせていただくところというのを御相談したいというふうに思いました。

この裏表の裏で言うと、(6)のところで配布先というところを見ていただいたらわかるんですけども、ここに「地域交流センター」とか、「市役所支所」と書いてあるのは、あくまでも私たちの希望であって、まだこの人たちに置かしてあげるよというようなオーケーをもらったわけではないんですが。自分で言うのも何ですけど、結構いい冊子になっていて、読書会だったら小郡地域だったらどこに行ったらいいかなというのがすごく便利になっています。なので、ちょっとこの配布先というのを御相談したいなというふうに思いました。

それと申しおけてました。ここにいらっしゃる委員さんの中で、いろんな団体さんにかかわっておられる方もいらっしゃって、その編集とかの情報集めにすごく協力いただいたので、皆さん、どうもありがとうございます。

**○会長**

これはどうすればいいですかね。今、どこ、配布先がどこ、例えば大学の図書館とか、それは全然問題ないかと思いますが……

**○委員**

全然問題ないです。

**○会長**

私は請け負いますが、山大の場合はちょっとよくわかりませんので、また確認していただければと思います。

**○副会長**

地域交流センターというのは、市役所の課が違いますよね。文化振興課でしたっけ。そのあたりで許可をとれば、いいのではないかと。

**○中央図書館長**

というか、もうこちらのほうで、もしそちらのほうと話をさせていただいて、問題ないということであれば、遞送というシステムが市にももちろんありますので、部数いただければ、その各地域交流センターに、こちらのほうから配布するというのは別に構いません。

**○委員**

ありがとうございます。

**○会長**

そうですね。郵送料が馬鹿になりませんので、遞送便を使っただくということがあるかと思います。県のほうもあるかとは思っています。

**○委員**

例えば、小さい子のお話をする団体とかも当たってますかね。

**○委員**

はい、そうです。

**○委員**

それだったら保育園とか幼稚園に言ったら、保護者さんに園を通して、こういうのがあるよということで。

○中央図書館長

大変いいことですので、拒否されることは、まずないと思いますけれど。ただ、私、今そのものがつくるボリュームがどうかというのが、ちょっとわからない……

○委員

これはもう印刷前の原稿なんですけれど、これが半分に折って、ここをとめたもの、この大きさになります。なので、そんな分厚いもんを窓口に置かれたら困るとかと言われても困る。

○中央図書館長

それは配布用ですか、それともそこで閲覧。

○委員

いいえ、もう配布して、手に取って、ボロボロになるぐらいまで使っていただきたいと思っていて、600部刷る予定です。それと、今回これは、鉢の子だけでできない作業でしたので、トネリコさんとかにも御協力いただいたのを言うのを忘れていました。済みません。

○中央図書館長

交流センターだけで21、2ありますので、そこに例えば何冊ずつ置くかという形になろうかと思しますので、恐らくすぐなくなると……

○委員

それだったら増刷したいぐらいなんですけど。どれぐらい反響があるのかというのもわからないから。

○中央図書館長

それは、配布は市の中で。ただ民間の保育園とか幼稚園はちょっとわからんですけど、公共的なところはお話しさせていただいて、遞送便ですればと。そういうことは可能でございます。

○委員

ありがとうございます。

○会長

これ山口市内ではありますけれども、6月に子供読書何とか会議がありますよね、県の。子供の読書関係のちょっと正式名称はよう言わないんですけれども。そこで委員の方に配るとか、6月11日にあります。日にちは違うかもしれませんが。県立図書館の第2研修室で2時からありますので、そこの委員さんとか、関係者とか、来られますので、〇〇先生にことづけとけば配布できるとか、できるだけそういう団体のことも取りまとめていらっしゃるので、そこの委員さんとかね、団体さんとか、山口市ではないんですけども、こういう団体ありますよという、地域に広げましょうとかいう趣旨であればですけど、もしよろしければという感じです。

○委員

それと、これが私たち鉢の子が自分たちの周りの小郡のことから考えが始まったので、小郡の人たちの行動範囲というのを考えて、中央図書館から南のこの情報

なんですよ。そういうのもちょっと気になっています。

だから、これが反響があれば、それこそ徳地とか徳佐とか阿東の人たちというのも、いろんな、初め全部調べたんです、市内全部の。そしたら、結構北部のほうも、いろんな団体さんがいらっしやって、必要なんじゃないかなと思うけど、ちょっと小郡の人たちが阿東まで行くかということ考えたときに、そこはちょっと今回は残念だけれども外そうという経緯があります。

#### ○会長

どんどん広がっていくといいですよ。最初は小郡の方で、その地域団体、山口市全体、それから県下全体とか、要するに、その一つのモデルになっていくといいなというのは感じました。また何か配布される等あれば、中央図書館長さんとの連携もっていただきたいなど。

それでは、時間、ぼちぼちなりましたので、配布資料とかは、もうよろしいですかね。

#### ○委員

ちょっとチラシが間に合わなかったの、持ってきていないんですけど、行事の御案内を一つしてもいいですか。

#### ○会長

はい。手短にお願いできればと思います。

#### ○委員

6月22日の土曜日の午後、大人が楽しむ絵本講座というのを、これは子供への呼びかけじゃなくて、大人が講師から提示された本について、6組のグループに分かれて、いろいろ思いとか感想とかを話し合うという感じの会をします。

#### ○会長

ありがとうございます。

#### ○委員

一応申し込み制にしています。

#### ○会長

それでは、まだまだあるかとは思いますが、そろそろ時間になりましたので、以上で、本日の議事は終了ということにさせていただきます。今後は、事務局のほうにお戻ししますのでお願いいたします。

#### ○事務局

それでは、事務局から連絡をさせていただきます。

次回は、10月から11月頃に開催いたしますので、近づきましたら、委員の皆様様に日程の調整をさせていただきます。決定したいと考えております。

以上で、第1回協議会は、終了でございます。

会議の円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。

	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040